

【地域医療構想調整会議用】病院整備計画の概要書

- 1 埼玉協同病院・埼玉県川口市木曾呂1317・南部保健医療圏
- 2 医療生協さいたま生活協同組合 理事長 雪田 慎二 埼玉県川口市木曾呂1317
- 3 医療機関の現状

病床数

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
高度急性期	HCU	4	4	0
一般急性期	一般急性期	345	345	0
回復期	回復期ケア	50	50	0
計		399	399	0

病床利用率（平均）2022. 4-6月

一般病床	療養病床	地域包括ケア 病床	回復期リハビリ テーション病床
79.9%			93.9%

- 4 開設等の目的、整備方針、必要性

埼玉協同病院は、1978年の開院以来増床を重ね400床規模の急性期病院として南部医療圏での医療を展開してきた。人口60万余の川口市内において400床規模の急性期病院は当院を含めて3病院しかなく、戸田市、蕨市を含めた南部医療圏（人口78万人）でも400床規模の病院は4病院である。

南部医療圏は、高齢化を背景として2040年ごろまでに、医療需要は1.24倍、介護需要は1.63倍にも増加すると見込まれること、また高齢者の増加に伴い脳こうそく、肺炎、骨折、心不全などの疾患が増大し、がん患者も1.5倍に増加することが見込まれている。さらに高齢化を背景にして要介護状態や認知症を抱えて入院が長期化する症例が増加すると考えられる。南部医療圏は都内に近く、患者が流出している現状もあるが、今後は患者が高齢となり居住地域に通院する可能性は増大すると考える。

住み慣れた場所で治療を継続するためにも、南部医療圏で救急やがん診療に対応できる急性期病院の役割を維持、発展させる必要があると考える。とりわけ、今後も医療需要が拡大していく救急医療に関わる急性期機能を強化をしていくことが地域の医療ニーズからも期待されていると考えている。しかし、コロナ禍による感染患者の急増による昨今の救急応需の厳しさが増大する前から、県南エリアにおける救急搬入要請数に対して搬入受け入れは厳しい状況であった。

そこで、今回の埼玉協同病院のリニューアル建設工事に際して、救急受入機能の拡充としてERの施設そのものを拡充すると共に、CTをはじめとする放射線機器等の配置を近接化する等、機能性を向上させる。加えて、新しい病棟の新築および改修する既存病棟の急

病院整備計画申出者（法人名）

性期機能を整備する。その中で、ハイケアユニット病床を拡充することで、1看護単位の病棟化し体制を確立することで救急からの重症患者の受入をスムーズにする予定である。

5 開設等の計画の具体的内容

(1) 整備する病床の機能・数 整備計画病床 4床

病床機能区分*1	医療機能*2	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
高度急性期	救急医療	一般	ハイケアユニット	4
計	—	—	—	4

*1 高度急性期、急性期、回復期、慢性期のいずれかの病床機能を記載

*2 がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、周産期医療、在宅医療など整備する病床が担う医療機能を記載

(2) 整備する病床数の根拠

①病床数の考え方

- ①救急車・地域の紹介の問い合わせで断っている件数が240～300件／年
(当院での受け入れ断りリスト、救急搬入シートより試算)
- ②ハイケアユニット病床(4床)の稼働状況は、2021年4月から2022年6月までの平均稼働率は100%超であり、ほぼ常時満床状態となっている。コロナ禍でも病床の必要性は高く、高回転率となっている。なお、医療・看護必要度は要件をクリアしている。
- ③今後、リニューアルにより、HCUに陰圧の個室1床を増床する計画であり、対象疾患を拡大できる予定である。

②-1 増床する病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
東4階病棟	8床	高度急性期		
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 / 療養	入院基本料・特定入院料	ハイケアユニット入院料1	
診療科 救急科、総合内科				
患者の受入見込み (※名称、数値(人数、病床数に占める割合)について具体的に記入してください。)				

病院整備計画申出者（法人名）

<p>【増床前】 救急、外来から入院年間 212 件（69.5%）、 院内転入 93 件（30.5%） 病棟稼働率 101.2%</p>	<p>【増床後】 救急、外来から入院年間 400 件（73%）、 院内転入 150 件（27%） 計 550 件の受け入れ見込み。 病棟稼働率 95% 救急要請・地域の紹介からの受け入れでお 断り事例分及び、年間 2,000 件ある全身麻 酔手術後の患者うち、ハイリスク患者受け 入れを想定</p>
<p>医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）</p>	
<p>【増床前】 ...</p>	<p>【増床後】</p>

②-2 既存病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
C5 病棟 (コロナ即応病床)	50 床	急性期	11.8 日	%
	<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 療養	入院基本料・特定入院料	ハイケアユニット入院料 1	
C4 病棟 (緩和ケア病床)	24 床	急性期	17.6 日	69.7%
	<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 1	
C3 病棟 (産婦人科・小児科)	5 床	急性期	5.5 日	47.5
	<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 1	
C2 病棟 (内科)	60	急性期	10.9 日	93.8%
	<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 1	
D5 病棟 (回復期リハビリ)	50 床	回復期	58.6 日	93.8%
	<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 療養	入院基本料・特定入院料	回復期リハビリテーション入院料 1	
D4 病棟・HCU (内科)	50 床	急性期	9.1 日	92.0%
	<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 1 ハイケアユニット入院料 1	
D3 病棟 (外科)	55 床	急性期	11.7 日	83.2%
	<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 療養	入院基本料・特定入院料		

病院整備計画申出者（法人名）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
D3 病棟 (整形外科)	57 床	急性期	18.0 日	93.1%
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般療養	入院基本科・特定入院科		
診療科 内科、産婦人科、小児科、外科、整形外科、耳鼻科、眼科、皮膚科、緩和ケア内科、麻酔科・リハビリテーション科				
診療実績 (※整備する病床に関連する実績を記述してください) 2021 年 8 月-2022 年 7 月実績 救急搬入数 3670 件、救急搬入率 43.5%、要請数 8,436 件 うち入院数 1,127 件 重症度・医療看護必要度 96.1%				

③ 医療（介護）連携における課題・問題点と対応

救急の依頼や地域開業医からの患者受け入れ依頼で、重症ベッドがないことによるお断り事例が発生している。
--

(3) 計画敷地

	面積	取得予定時期	取得状況
取得済	27948.97m ²		所有・借地
仮契約済	m ²		所有・借地
取得予定	m ²		所有・借地
計	m ²		

(4) 計画建物

工事種別	新築 ・増築・改修・その他（ ）
概要	病院・RC造（一部S造）・新築約16,195m ² ・改修約3,425m ² 埼玉協同病院の病棟のほぼ半分となるC館(4病棟)を建て直すリニューアル工事を着工しました。新しい病棟は2023年8月に4病棟(162床)がオープンとなります。その後、D(4病棟)の改修工事となります。

(5) 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）		確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
		実人数		常勤換算	実人数

病院整備計画申出者（法人名）

医 師	98	120	43.8	85	25	7.1
看 護 師	260	75	63.6	257	62	43.2
准 看 護 師	2	11	7.7	0	0	0
看 護 補 助 者	7	36	25.8	8	45	30.6
薬 剤 師	27	1	0.9	25	4	3.2
放 射 線 技 師	29	1	0.5	15	1	0.5
臨 床 検 査 技 師	28	5	3.9	15	4	3.1
理 学 療 法 士	39	0	0	29	0	0
言 語 聴 覚 士	7	0	0	4	0	0
作 業 療 法 士	21	0	0	18	0	0
事 務	105	108	74.3	55	61	40.5
そ の 他	63	46	27.8	47	31	18.8
					0	
計	686	403	248.3	558	250	146.9

確保状況・確保策、確保スケジュール

<p>【医師】 2017年度から3年間の初期研修医の採用は、定数7名の連続フルマッチをしました。そこで、2020年度から定数を8名に増員したうえでフルマッチとなり、2022年度も8名の入職となっています。後期研修医や専攻医の入職も毎年3～5名、既卒医師も年間3～5名の採用実績があります。2022年度嘱託常勤を含む常勤医師数(98人)、非常勤の常勤換算(43.8人)に対して2023年度8月の新病院建設以後は、外来診察エリアをユニバーサル外来として集約化するなどにより診療体制を整備する事としており、現有体制で対応できると考えています。</p> <p>【看護師】 2019年時点では常勤看護師230人と非常勤看護師56.0人合わせて286人でした。退職もありますが、毎年40名の新卒看護師、平均10名程度の既卒看護師が入職しています。2022年度には常勤看護師260人、非常勤の常勤換算63.6の計323.6人となっています。2023年度8月には、2つの病院で常勤看護師305人、非常勤の常勤換算67.5の計372.5人を予定しています。</p> <p>【その他の職種】 *当法人は医系学生の奨学生制度をもっており（医師、薬剤師、看護師、セラピスト、介護職等）学生時代の経済的支援をして、卒業後当院職員として働くことが計画でき、採用見通しがもてます。今後5～6年先まで複数職種の奨学生がいます。 加えて毎年病院実習者、学校のつながりから多くの応募者があります。計画的な採用で確保は可能と考えます。 中途採用者は紹介業者を活用することもあります。職員、医療生協組合員からの紹介や事業所の紹介御礼制度等を創設し、自前での確保も行っています。 現有体制でほぼ開院予定確保数となっています。</p>
--

(5) スケジュール

No.	項 目	計画年月	備 考
1	基本計画	2016年4月～2019年6月(26か月)	
2	基本設計	2020年6月～2021年5月(11か月)	
3	実施設計	2021年3月～2021年12月(8か月)	
4	開発許可等都市計画法上の手続完了	2021年10月	
5	農地転用等農地法上の手続完了		該当なし

病院整備計画申出者（法人名）

6	建築確認許可	2021年12月	
7	建築請負契約の締結	2021年12月	
8	開設（変更）許可（医療法）	2021年10月	
9	建築（着工～竣工）	2021年12月～2023年6月	
10	医療従業者の確保	2023年4月	随時
11	使用許可（医療法）	2023年6月	
12	開設（増床）	2023年8月	